

令和元年度 事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 1 日

事務事業名		りんりんロード利活用促進事業				事業区分		担当		
		政策体系上の位置付け				新規/継続 単独/補助		事務事業No. 040302000567		
政策体系	総合計画の施策名	0403 観光の振興				主要事業		所属課 050301		
	政策名	04 活力ある産業のまちづくり				市長マニフェスト		商工観光課		
	施策名	03 観光の振興				未来PJ事業		グループ 商工観光グループ		
	手段名	02 ②観光資源の充実と商品開発				合併建設計画事業				
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計 観光事業			
	01	07	01	04	01	00	単年度繰返し (平成30年度~)			
法令根拠							☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当が行う業務の内容・やり方・手順
景地域振興課が事務局となり、平成30年度に設立されたつくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会のレンタサイクル部会の事業を所管している。 主な事務は、つくば霞ヶ浦りんりんロードの整備に関わる連絡調整や、つくば霞ヶ浦りんりんロード沿線の市と協力したレンタサイクル事業の運営である。	つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会への出席 レンタサイクルの運用 (高砂旅館への業務委託、利用者報告：毎月) 利用促進イベントへの参加、協力

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会への参画	つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会	回	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
市民及び市外からの利用者	首都圏人口	千人	43,152.00	43,153.00	43,154.00	43,155.00	43,155.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
りんりんロードの利用促進	広域レンタサイクル利用者	人	1,300.00	1,500.00	2,000.00	2,500.00	3,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	単位	29年度	30年度	01年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	
事業費	国庫支出金	千円	0	492	492	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0	0
	その他	千円	80	0	0	0
	一般財源	千円	801	493	493	0
	事業費計 (A)	千円	881	985	985	0
正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

30年度事業費 実績 (千円)

01年度事業費 予算 (千円)

事業費の内訳	30年度事業費 実績 (千円)	01年度事業費 予算 (千円)
19 負担金補助及び交付金	985	985
合計	985	985

(4) 当該年度の実施内容

実施内容	01年度の事業内容	02年度の事業内容	03年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業			

事務事業名	りんりんロード利活用促進事業	事務事業No.	40302000567	所属課	商工観光課
-------	----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	H14.2月に県及び沿線市町村(桜川市・つくば市・土浦市)によりつくばりんりんロード利活用促進会議が発足、H24年のからは利用促進に関する意見や情報交換の場として残る。その後、水郷筑波サイクリング環境整備事業推進検討会が発足、H28に水郷筑波広域レンタサイクル事業実行委員会が発足、平成30年度には、推進検討会とレンタサイクル事業実行委員会が統合され、つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会が設立された。レンタサイクル事業は、当協議会の広域レンタサイクル部会で運営
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	利用を促進してほしい。道路を整備してほしい。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	お土産品も売れるよう事業を進めていく。
改革改善を行う	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	りんりんロードの利活用を促進し、観光の振興にもつながるので結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	つくばりんりんロードの利活用促進と周辺地域の活性化に資することを目的としていることから妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	事業は平成30年度から本格化し、今後、ますます向上する可能性が高い。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	県、各市と連携している事業であるため影響は大きい。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる	すでに県や各市と連携している。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	サイクリングロードの周知やレンタサイクルの整備のため費用がかかり、協議会の負担金を削減することは難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	筑波りんりんロードは県道であり、誰もが自由に利用できるため公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	近年のサイクリングブームからりんりんロードを利用する人は増えてきている。H30からは観光協会独自のレンタサイクル事業を開始した。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上	○																						
	維持																							
	低下																							
サイクリング人口は増加傾向にあるが、消費につながるような仕掛けも必要である。	(6) 事務事業優先度評価結果																							
	成果優先度評価結果 ① コスト削減優先度評価結果																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>